

新宿区教育委員会会議録

令和3年第4回臨時会

令和3年7月21日

新宿区教育委員会

令和3年第4回新宿区教育委員会臨時会

日 時 令和3年7月21日(水)

開会 午後 3時00分

閉会 午後 3時41分

場 所 新宿区役所6階第4委員会室

出席者

新宿区教育委員会

教 育 長	酒 井 敏 男	教育長職務代理者	古 笛 恵 子
委 員	星 野 洋	委 員	山 下 浩 一 郎
委 員	今 野 雅 裕	委 員	年 綱 和 代

説明のため出席した者の職氏名

次 長	菅 野 秀 昭	教育調整課長	齊 藤 正 之
教育指導課長	荒 井 亮 宏	統括指導主事	北 中 啓 勝
教科用図書 検討委員会委員	池 田 知	教科用図書 検討委員会委員	大 川 直 樹
社会科調査 委員会委員長	門 脇 伸 也		

書記

教 育 調 整 課 主 査	芳 賀 祐 子	教 育 調 整 課 管 理 係	国 分 克 行
------------------	---------	--------------------	---------

議事日程

協 議

- 1 令和4年度使用新宿区立中学校教科用図書採択について（教育指導課長）

◎ 開 会

○教育長 ただいまから、令和3年新宿区教育委員会第4回臨時会を開会します。

本日の会議には全員が出席しておりますので、定足数を満たしています。

本日の会議録の署名者は、山下委員にお願いします。

○山下委員 はい、承ります。

◎ 協議1 令和4年度使用新宿区立中学校教科用図書の採択について

○教育長 本日は、「協議1 令和4年度使用新宿区立中学校教科用図書の採択について」の協議を行います。

なお、本日は、議事はございません。

今回の教科用図書採択では、令和4年度に使用する区立中学校の教科用図書について、新たに1社の教科用図書が発行されることとなった中学校社会科（歴史的分野）1種目についてのみ、採択を行います。

なお、採択した教科用図書を使用する期間は、令和4年度から令和6年度までの3年間となります。

はじめに、今回の教科用図書採択の日程についてお諮りします。

教科用図書は、法令の規定に基づき、本年8月31日までに採択を行い、東京都に報告する必要があります。

具体的な採択の日程としましては、第5回定例会で御報告させていただきましたとおり、本日、7月21日の会議で協議を進め、採択候補図書を一種に絞り込んでいきたいと考えています。そして、協議の結果を踏まえ、絞り込み理由の確認など、議案を整え、8月6日の第8回定例会で御審議いただき、採択を行いたいと考えています。

以上が、採択の日程の提案となりますが、御意見、御質問がありましたら、お願いいたします。

○古笛教育長職務代理者 ただいま、教育長から御提案のあった日程でよろしいかと思えます。

○教育長 ありがとうございます。

古笛教育長職務代理者から御発言をいただきましたが、他に御意見、御質問はありますでしょうか。

○教育長 御意見、御質問がなければ、提案いたしました日程で進めさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔異議なしの発言〕

○教育長 ありがとうございます。

それでは、本年度の日程については、そのように進めさせていただきます。

次に、本日の協議の進め方についてお諮りします。

本日は、まず、事務局から報告を受けます。

次に、教育委員会会議規則第13条の規定に基づき、教科用図書を専門的に調査した、令和4年度使用新宿区立中学校教科用図書採択における教科用図書調査委員会の社会科調査委員会委員長に出席を要請します。

社会科調査委員会委員長より、指導要領や教科特性などの説明を受け、教科用図書の調査検討の結果について質疑を行います。

最後に、教科用図書検討委員会において、事務局を担当した教育委員会事務局職員より、教科用図書検討委員会における検討内容の説明を受けます。その後、質疑を行い、採択の対象となる教科用図書の絞り込みを行います。

以上が本日の進め方の御提案となりますが、いかがでしょうか。

○古笛教育長職務代理者 ただいま、教育長から御提案のあった進め方でよろしいかと思いません。

○教育長 ありがとうございます。

古笛教育長職務代理者から御発言をいただきましたが、他に御意見、御質問はありますでしょうか。

〔発言する者なし〕

○教育長 御意見、御質問がなければ、提案のとおり進めさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔異議なしの発言〕

○教育長 ありがとうございます。

以上で、当面の日程と採択までの手順を確認いたしました。

なお、会議の進め方の詳細につきましては、今後協議していく中で、必要に応じて皆様と決めていきたいと思えます。

それでは、事務局から報告を受けます。

まず初めに、教科書展示会でのアンケートについての報告をお願いします。

○**教育調整課長** 教科書展示会で行ったアンケート結果を各委員にお配りしております。

教科書展示会は、区役所では5月27日、教育センターでは6月1日を開始日とし、いずれの場所においても、6月10日まで特別展示を実施しました。

また、区役所及び教育センターにおいて、6月11日から6月30日まで法定展示を実施いたしました。

教科書展示会会場でのアンケートの総数は、3件となっております。

事務局からは以上です。

○**教育長** アンケート結果につきましては、教育委員の皆様にも事前にお配りし、御覧いただいております。

なお、教科書採択は、教育委員会の判断と責任において、公正かつ適正に行う必要がありますので、採択結果をもって、いただいた御意見へのお答えとさせていただきます。

次に、教科用図書検討委員会における総括的な検討経過、検討の視点、検討結果について、教科用図書検討委員会において事務局を担当した教育委員会事務局職員から報告を受け、それについて質疑を行います。

それでは、報告をお願いします。

○**北中統括指導主事** 最初に、検討委員会における検討日程について申し上げます。

6月11日、第1回の検討委員会におきまして、教育委員会より意見聴取を受け、検討日程、検討委員の役割を確認いたしました。12名がここで検討委員として指名を受けました。第2回の検討委員会は、7月9日に行い、学校調査結果及び調査委員会調査結果を基に、社会（歴史的分野）について検討を行いました。また、報告文、検討委員会調査資料の文言の最終検討等もここで行いました。

以上のように、2回の検討委員会を経て、検討・協議を行ってまいりました。

なお、検討委員会では、昨年度の教科書採択の際に、審議委員会として教育委員会において既に報告が行われている調査委員会報告書及び学校調査報告書の資料を活用し、改めてそのよさや授業での使用感について確認したところです。

次に、採択候補の総点数について申し上げます。

社会（歴史的分野）の1教科1種目、8冊の教科用図書について検討を行いました。

次に、検討委員会における協議の方針を申し上げます。

学校調査及び、調査委員会調査の結果を踏まえながら、検討委員会として独自の評価を行

いました。

検討委員会では、評価に際し、各教科用図書の優れている点を分析いたしました。具体的に検討委員会に参加している委員の学校現場での事例や、PTAの方からの意見を踏まえ、内容や使用上の便宜等について検討・協議を行いました。

検討委員会として独自の意見をそれぞれの委員からいただき、それらを参考に評価をいたしました。学校調査結果でA評価が多く、調査委員会評価がA評価ならばA評価としているところですが、学校調査、調査委員会ともに評価が高く、甲乙つけ難い場合には、A評価が2社以上となっている場合もございます。ただし、そのような場合においては、どちらがより優れているかを、昨年度の採択も踏まえ、既に学校現場で使用されている教科書については、実際の使用感なども聞きながら、検討・協議を行いました。

次に、検討委員会報告書の見方ですが、社会（歴史的分野）のみ、1ページにまとめてあります。意見欄には、検討委員の意見を基に、調査委員会の総合的な意見を加味して作成しています。意見欄については、評価が、C評価よりもB評価、B評価よりもA評価の記述が多くなっております。それだけ優れている点があるということで、そうした記載がされているということです。

では、報告書の内容について補足説明をさせていただきます。

社会（歴史的分野）調査委員会調査の結果では、A評価は、東書と帝国の2社でした。学校調査の結果では、東書のA評価は6校、帝国は5校でした。これらを踏まえ、直接、教科書に当たって検討した結果、東書は対話的な学びになるような仕掛けがあり、各ページのまとめへ向かう構成がよく、帝国と比較した際に、記述の多さや詳細さがよい、などの理由から優れている点が多いと判断し、検討委員会でA評価としたのは2社ではありますが、検討委員会が推薦するのは東書となりました。

報告は以上です。

○教育長 報告が終わりました。

本年度の検討経過のうち、総括的な部分について、御意見、御質問がありましたら、お願いいたします。

[発言する者なし]

○教育長 御意見、御質問がなければ、次に、教科用図書調査委員会の社会科調査委員会委員長に御入室いただきます。

[社会科調査委員会委員長 着席]

○**教育長** それでは、協議の進め方ですが、専門的に調査検討を行った教科用図書調査委員会の社会科調査委員会委員長から、「指導要領の中での目標」、「教科の特性等」、「調査委員会における調査の内容」、「その他評価を決定する上での主な議論」などについて説明を受け、質疑を行います。

その後、教科用図書検討委員会において、事務局を担当した教育委員会事務局職員より、教科用図書検討委員会における検討の内容等について説明を受け、質疑を行い、採択の対象となる教科用図書の絞り込みを行います。

それでは、社会（歴史的分野）について、指導要領の中での目標や、評価を決定する上での主な議論などについて御説明ください。

○**門脇社会科調査委員会委員長** 社会科調査委員長の新宿養護学校校長の門脇でございます。私から、社会（歴史的分野）教科用図書の調査について御報告いたします。

まず、学習指導要領では、歴史的分野の目標を次のように示しております。「社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する」としております。

このことを踏まえて、知識・技能、思考・判断表現、課題を主体的に追求、解決しようとする態度の3つの力を身につけさせるよう目指しております。

知識・技能については、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べ、まとめる知識・技能を身につけられるようにします。

思考・判断表現については、歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養います。

課題を主体的に追究、解決しようとする態度については、歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通じて涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養うということになります。

続いて、この目標を達成するために、学習の内容は主に5つの改訂がされております。

1つ目が、歴史について考察する力や説明する力の育成の一層の重視です。

2つ目は、歴史的分野の学習の構造化と焦点化です。

3つ目は、我が国の歴史の背景となる世界の歴史の扱いの一層の充実です。

4つ目は、主権者の育成という観点から、民主政治の来歴や人権思想の広がりなどについての学習の充実です。

5つ目ですが、様々な伝統や文化の学習内容の充実となります。

これらを基にして、調査委員会では昨年度御報告した7社の教科用図書から、さらに今回の1社の教科用図書を含めまして、小学校社会科の各内容との関連が考慮されていたり、高等学校の新科目への接続を見据えた改訂が補足されていたり等、9点の項目を取り上げて調査結果をまとめました。

1点目は、小学校の社会科とのつながりについて解説など分かりやすく表示していること。例えば編や章、節の初めに、小学校の社会科で習った言葉を明記したり、平易な言葉で問いやクイズ等解説を載せたりしていること。

2点目は、目次や見出し、編、章、節のページにより、色別を用い、構成が分かりやすくなるように工夫を施していること。

3点目は、単元のまとめに小集団での対話的な学習を行いやすい設定がされていること。

4点目は、編、章、節の終わりに振り返りやまとめを行いやすい設定がされていること。

5点目は、写真や地図、イラストには大きさや鮮明さ等、視覚的に興味・関心を引きつけるものが掲載されていること。

6点目は、コラムや特設コーナー、教科書本文を補う興味・関心を引きつける内容となっていること。

7点目は、学習内容をより深められる課題が分かりやすく示されているか。このことにより、小集団での対話的な学習が深まるかどうかということです。

8点目は、地図帳を併用することで、図、統計資料や動画と関連づけて知識及び技能の向上を効率的に進められるかどうかということです。

9点目は、授業時数と学習内容の量から、授業内の振り返りもさることながら、家庭での学習が取り組みやすいものとなっているかどうかということです、が評価の差になりました。

主な議論と評価について評価が高かった順にお伝えいたします。

まずは、東京書籍（東書）についてです。持続可能な社会を実現するために歴史を学ぶ、

この視点を基に環境・エネルギー、防災・安全、伝統・文化、人権・平和、情報・技術といったテーマから、身近な地域の歴史を特設ページで取り上げています。自分たちは何ができるか、どのようにすべきか、考えていくための資料の掲載がされていました。

特に、第2章の終わりでは、調査活動に必要な基礎的・基本的な技能を身につけられるよう、地域の歴史を調べることを通じて、テーマ、設定、調査、考察、まとめ、発表までを分かりやすく掲載しておりました。

続いて帝国書院（帝国）です。第1部 歴史の捉え方と調べ方の、第2節 歴史の調べ方、まとめ方、発表の仕方、及び歴史的な見方・考え方を働かせようということで、特設ページを設け、分かりやすく記載しております。

また、「タイムトラベルの学習の仕方」は、イラストを用いて時代の移り変わりや事柄の比較により、これからの学習の全体像を捉えやすくしております。

教科書の最終章は、地理的分野、歴史的分野、そして公民的分野で学習してきた内容や見方・考え方を踏まえて、「未来に向けて」という視点から、「22世紀の中学生へ向けてのメッセージをまとめよう」と提示しています。

次に、B評価となった、教育出版（教出）についてです。「歴史を探ろう」などのページを中心に様々な人物の視点から考える工夫が充実しています。

章のまとめでは、時代の移り変わりや時代の特色、時代の変化に着目し、章の接続を図りながら学習を進めることができるようになっております。

続いて、同じB評価の日本文教出版（日文）です。本文は読みやすい平易な文章で書かれており、文化史を扱うページを中心に資料が充実しており、生徒の関心を引きやすくなっております。「声の広域コーナー」も設け、実際に住む人々の言葉を紹介し、生徒の興味・関心を高める工夫もありました。

資料活用として、QRコードにより学習を補充する問題と解答が入手でき、授業内のICT機器の活用による効果が家庭学習の幅も広がるよう工夫されております。

続いて、C評価となった、山川出版（山川）についてです。世界の情勢をイラストで分かりやすく示したページが充実しており、視覚的に分かりやすくなっています。

身近な地域の調査の手法について、図版を用いながら丁寧に掲載しております。

「歴史へのアプローチ」では、歴史的に興味深いテーマを掘り下げておりました。

続いて、同じくC評価の育鵬社についてです。見開きのページは図版、挿絵、写真が大きく上段に位置し、見やすいものとなっております。その分、教科書本文の字数及び説明が少

なくなっていますが、教科書本文と関連する特設のページやコラムを掲載しておりました。

続いて、同じくC評価の学び舎についてです。時代の中心人物以外の人物を含め、様々な視点から平易な表現で記述されております。

各項目を見開き2ページで記述しており、1時間当たりの学習内容が分かりやすくなっています。

そして、今回、新たに発行された、C評価の自由社についてです。写真や図、挿絵、資料、注記、用語の解説も読みやすく分かりやすいものになっておりました。

改めて、A評価とした東京書籍、帝国書院については、小集団での対話的な学習の設定や解決すべき課題を多く取り上げ、生徒が取りかかりやすいこと。さらに、身近な地域の歴史の調査に関わる項目が設けられていて、地域の歴史に目を向けるきっかけができていていること。また、章、節等に設定された問いを軸にした構成となっており、問題解決的な学習を行いやすくしていること。最後に、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなど、年表、写真、図版、地図、解説を含めて教科書自体が見やすいこと。以上のことから、生徒が学習課題をイメージしやすいということで、評価をAといたしました。

それぞれ工夫された教科用図書でしたが、調査委員会としては、生徒が学習のために課題を捉えやすいこと、さらに授業時数と学習内容の量から、授業内の振り返りもさることながら、家庭での学習が取り組みやすいものとなっているかどうか、この部分を総合的に評価して、調査委員会としては昨年と同じく、東京書籍を推薦いたします。

報告は以上となります。

○**教育長** 説明が終わりました。御意見、御質問がありましたらお願いいたします。

[発言する者なし]

○**教育長** 御意見、御質問がなければ、これで「学習指導要領の中での目標」、「教科の特性等」、「調査委員会における調査の内容」、「その他評価を決定する上での主な議論」などについての質疑を終了します。

続いて、教科用図書検討委員会における検討の内容等について説明を受け、質疑を行い、採択の対象となる教科用図書の絞り込みを行います。

それでは、社会（歴史的分野）について、教科用図書検討委員会ではどのような検討が行われたのか、説明をお願いします。

○**北中統括指導主事** それでは、社会（歴史的分野）の絞り込みを行っていただく前に、改めて、本日配付している資料等について補足させていただいてもよろしいでしょうか。

○教育長 お願いします。

○北中統括指導主事 それでは、調査報告書、社会（歴史的分野）を御覧ください。

まず、資料をおめくりいただきますと、調査委員会からの報告書、学校調査の結果の順に掲載しております。

中学校が10校ございますので、10校中何校がA B C評価をつけたか、「中学校調査報告書」のページで御覧いただければと思います。また、それ以降のページについては、東京都教育委員会が作成した資料となります。東京都教育委員会は、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第10条及び第11条の規定により、教科書の調査研究を行うこと、また、これに基づいて各区市町村に指導助言をすることとなっております。そのため、本資料には、学習指導要領の目標等がまとめられています。こちらも併せて御参照ください。

なお、先ほども御説明させていただきましたが、学校調査及び調査委員会報告書については、既に昨年度の教科書採択の際に7社分の教科用図書について報告が行われています。本資料においても、昨年度報告させていただいている内容については、同様のものとなります。新たな箇所は、自由社の学校調査及び調査委員会報告の箇所となります。

続けて、検討委員会より報告を受けている事務局より、社会（歴史的分野）の調査検討内容の説明を行います。

先ほどの説明にもありましたが、検討委員会では、学校調査報告と調査委員会報告を踏まえ、実際に教科書で意見欄に示された部分等を確認しながら、調査・検討を行いました。学校調査報告と調査委員会報告とは、評価が異なる場合もありますが、双方の意見を踏まえながら調査し、独立した評価を検討委員会として行いました。

社会（歴史的分野）についての調査検討内容の説明を行います。繰り返しになりますが、教科名は社会（歴史的分野）、現行の教科書は東京書籍（東書）となります。

まず、学校調査の結果についてです。最もA評価が多かったのは、東書と教出で、10校中6校がA評価でした。調査委員会の調査結果は、東書、帝国が総合評価でAでした。検討委員会では、この東書、帝国の2社をA評価としました。その理由、意見等として、東書は、写真や図版が適切に配置され、巻末の用語解説が丁寧である、また、文中の略年表の工夫や資料の多さ、文中の記述の詳細さなどが優れている。帝国は、家庭学習においても有効なQRコードの活用ができる教科書であり、また、「タイムトラベル」のコーナーなど、生徒自身がその時代に立ち返り、学習を進めることができるなどの工夫があることがよい点として挙げられます。

また、検討委員会では、教出については、歴史資料が充実しており、多様な授業展開が期待できるなどがよい点として挙げられました。

最終的に、検討委員会として、学校調査、調査委員会調査の報告などを踏まえて、教科書を確認しながら総合的に判断した結果、小学校と中学校の接続を意識した課題の設定や、対話的な学習場面を設定するための工夫があることや、学校評価でA評価が最も多く、調査委員会調査でA評価であった東書を推薦します。

報告は以上となります。

○**教育長** 説明が終わりました。御質問がありましたらお願いいたします。

[発言する者なし]

○**教育長** 御意見、御質問がなければ、採択に最もふさわしいと考える教科用図書について、各委員の御意見を確認したいと思います。

古笛職務代理者、いかがでしょうか。

○**古笛教育長職務代理者** 私のほうは、前回と変わらないのですが、東書が最もふさわしいと考えました。

まず、昨年の教科書採択の際もお話しさせていただいたとおり、今回の結果も学校調査でもA評価が一番多いこと、そして調査委員会でもA評価で、それを踏まえた検討委員会でもA評価ということで、その点が一番大きな理由ではあります。昨年度、地理のときにも少しお話をさせていただきましたが、東書の教科書を読んでいると、歴史や公民などいろいろなところで横断的に目配りしていて、とても読みやすかったということがあります。それから、先ほども御意見が出ていたとおり、小学校で勉強してきたこととのつながりを意識しているので、そういった意味でも導入として使いやすいのかなということ、また個人的には用語解説が最後に載っているのも、とても便利だなと思いました。1人で勉強するときに、ちょっとしたことですが、こういったものがあるのはよいと思いました。年表も見やすかったです。東書でいいのではないかと思いました。

○**教育長** ありがとうございます。

次に、星野委員、お願いいたします。

○**星野委員** 私も東書がいいかなと思いました。とにかく絵や写真がとてもきれいで、解像度もあるので、これはタブレットを使用するとか、プロジェクターに映すときでも、結構きれいな絵や写真が出るのではないかと思いました。

内容としましては、チェックアンドトライやスキルアップなど、自学自習に結びつくよう

な項目が単元ごとに入っていることと、あとは見開きの初めに学習課題や、読み取る、という項目があって、学習内容のポイントがずれない、分かりやすい教科書だと思いました。

学校評価も検討委員会の評価もA評価ですので、東書がいいかなと思いました。

以上です。

○教育長 ありがとうございます。

山下委員、お願いいたします。

○山下委員 私も、今回改めて見てみたのですが、やはり東書が一番読みやすいと。読んでいて目が痛くならないというか、ギラギラしてなくて、あまりギラギラしたものを見ると目が痛くなってしまいますので、とても読みやすかったです。

いくつかの教科書を比較してみると、例えばルネッサンスの絵とか、おそらくプリマヴェーラの絵だと思うのですが、両方見比べると全く色合いが違います。いろいろな教科書に載っているのですが、長時間見るにはすごくいいデザインをしている。それからジャンプ率といって、イラストの大小のメリハリがすごく効いているので、リズム感を持って最後まで読める教科書だと思いました。

他社と比べていいと思ったところは、東書の89ページの洛中洛外図を読み解こうというところ。屏風絵の中でこれは何をしている人か、というのはよくあるのですが、これが他のところに、上杉本だと思いますが洛洛の絵がちりばめられていて、ああこうやって物事を見ていくのかと理解することができます。

歴史にアクセスというコーナーが隅々にあるのですが、かなり深く掘り下げていて、他ではちょっと扱わないような、大人が見ても、「へえ、そうなんだ」というような内容にも触れられていて、非常に読み応えのある、歴史が苦手な子も得意な子も楽しめる教科書かなと思いましたので、私はこの東書がよろしいかと思います。

以上です。

○教育長 ありがとうございます。

次に今野委員、お願いいたします。

○今野委員 私も東書でございます。何人かの委員からもお話が出ましたけれども、学習の課題がきちんと最初に明示されて、そして記述があって、最後にチェックアンドトライというように、チェックというのが重要な事項を確認させるとことになると思います。それからトライのところで、さらに理解を深めるような課題を課すというように、非常に学習しやすい教科書になっているのではないかと思います。

資料がとても豊富で、しかもその内容が資料を深く読み取らせるような問いかけが幾つもあることも、探求的な学習を進める上で非常に工夫されている点で、それが特徴の1つになっていると思います。

それから、大きな歴史の流れとともに地域の歴史を調べるということで、身近なところから捉えるという視点もはっきり出ていて、歴史の学習を身につけさせるものとして非常にいいと思いました。全体的に文章、項目が整理されていて、バランスがいいと感じました。

以上でございます。

○教育長 ありがとうございます。

次に年綱委員、お願いいたします。

○年綱委員 今までの発言した委員と同様に、私も東書がよいと思いました。東書の教科書は、興味・関心を引き出し、高めてくれる、総合的な深い学びに導いてくれるのではないかと考えたからです。

また、歴史的な流れを理解していく上で工夫されている年表は、よくまとめられていていいなと思いました。生徒たちが歴史を学んでいく上で、なぜ、どうして、どうなっていったのかなど、学びたいと思われる工夫が各所に見られて、東書がよいと思いました。

○教育長 ありがとうございます。

私も、皆さんがおっしゃっていましたが、チェックアンドトライなど、構成がよく、みんな読んで学習してもいいし、個人で学習してもついていけるような、そういう工夫がされているように思いました、東書がいいと思いました。

それでは、皆さんの御意見が出たところで、絞り込みを行いたいと思います。全員一致で東書ということですので、東書に絞り込みを行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔異議なしの発言〕

○教育長 それでは、そのように進めたいと思います。

ここで、社会科調査委員会委員長には御退席いただきます。ありがとうございました。

〔社会科調査委員会委員長 退席〕

○教育長 以上で、本日の質疑と教科用図書の絞り込みを終了いたします。

本日、絞り込みを行った教科用図書については、議案としてまとめ、8月6日の第8回定例会に提案をさせていただきます。

本日の協議は終了いたしますが、事務局から何かありますでしょうか。

○教育調整課長 特にございません。

◎ 閉 会

○教育長 それでは、本日の教育委員会を閉会いたします。

ありがとうございました。

午後 3時41分閉会